

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 |
|------------|---|
| お願い | 取り扱いを誤ると、使用者が障害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていただく事」を示しています。 |

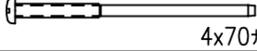
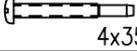
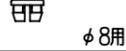
| 枠タイプ | 内容物 | 数量 |
|-------|--------------|-----------|
| らんま無し | 1 上枠 | 1 |
| | 2 下枠 | 1 |
| | 3 縦枠 | 2 |
| | 4 溝塞ぎ材 | 4 (両開きは6) |
| | 5 巾木 (※1) | 1 |
| | 6 枠組立取付ビスセット | 1 |
| | 7 ピボットヒンジセット | 1 |

※1 巾木付タイプのみ同梱されています。

お願い

- ・本製品は土間納まり専用の商品です。
- ・樹脂部材はアルミ材よりも局部的な衝撃に対して割れたり変形することがありますので、取扱いについては充分注意願います。また、製品の現場保管につきましては、直射日光を避け、建屋内の風通しの良い場所を選んで、保管するようにお願いします。炎天下に放置しますと、樹脂材が変形する場合があります。
- ・組立及び取付けは所定のネジを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
枠組立ネジ - 2~2.5N・m (20~25kgf・cm) が目安です。
枠取付木ネジ - 2~2.5N・m (20~25kgf・cm) が目安です。
- ・危険防止のため、枠の躯体への取り付け及びドア本体の吊り込みは必ず2人以上で行なってください。

枠組立取付ビスセット一覧

| ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|
| 組立ネジ (長) | 組立ネジ (短) | 裏板固定ネジ | ビスキャップ |
|  4x70ナベ |  4x35ナベ |  4x16トラス |  φ8用 |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ | |
| 取付木ネジ | 取付木ネジ | アンカー | |
|  3.8x38丸 |  3.8x32特平皿 |  | |

お願い

- ・組立前に内容物を確認ください (右の表を参照して下さい)。
- ・錠セット、ピボットヒンジ、ドアクローザーの取り付け・調整は、それぞれに同梱されている説明書をご覧ください。

1 枠の組み立て

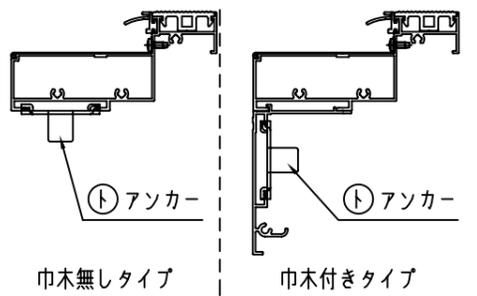
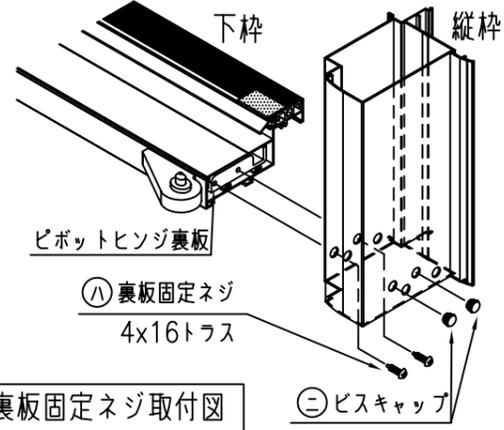
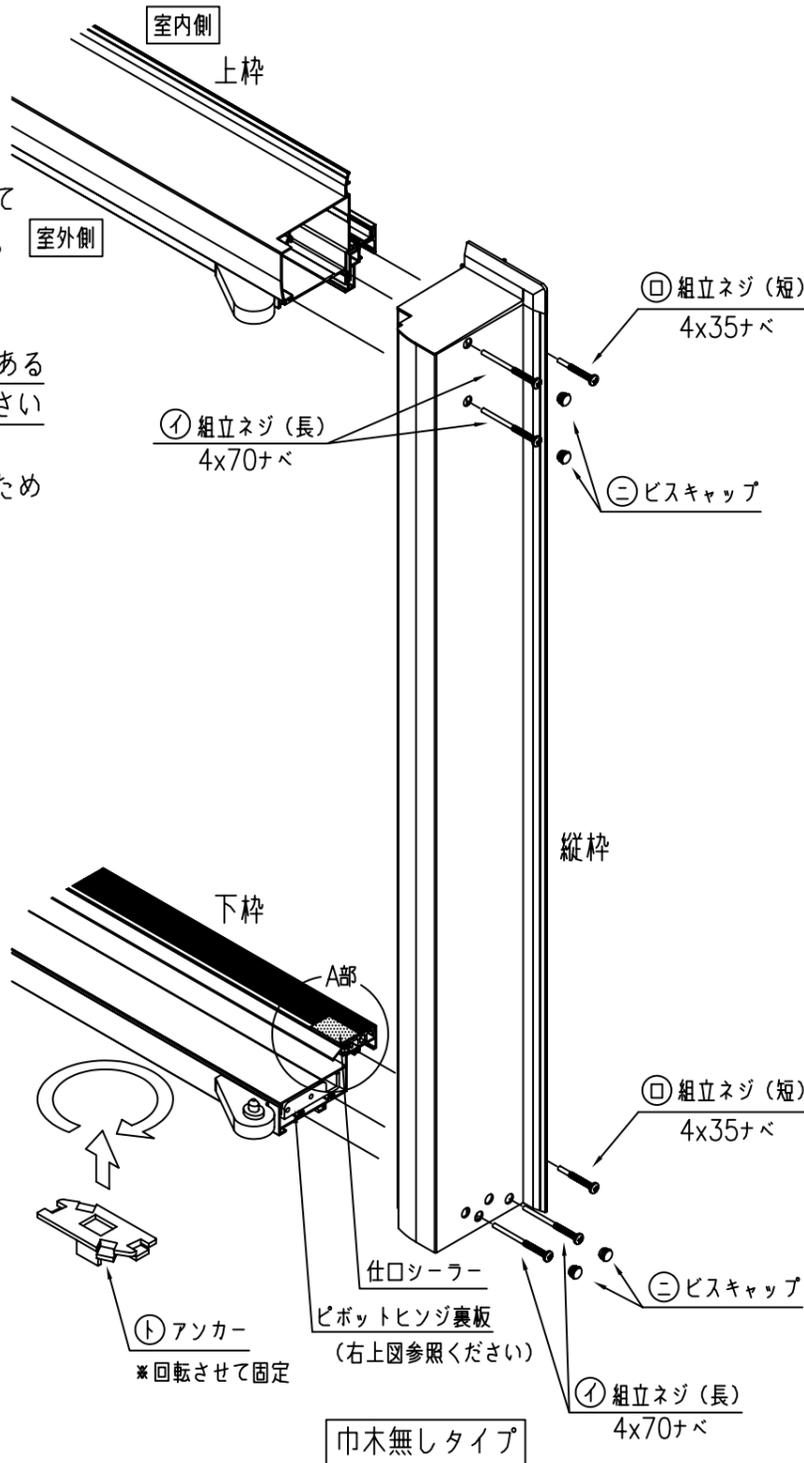
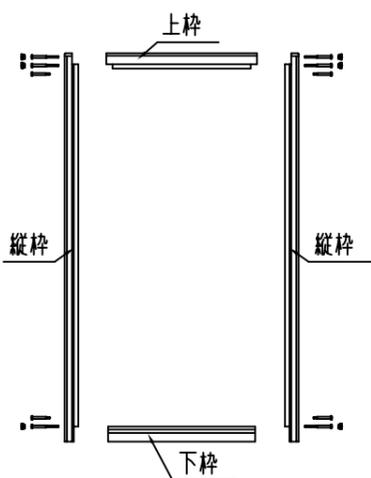
お願い

- ① 縦枠上下端のシーラーが上・下枠にしっかり当たっているか確認してから組立ネジを締め付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ② 仕口シーラーが上下枠の両端に付いているかを確認してください。(例 A部参照)
- ③ 下枠と縦枠の組立の際にピボットヒンジ裏板がある場合は、必ず ⑧ 裏板固定ネジを締め付けて下さい (右図参照)。
※下枠ピボットヒンジには大きな荷重が加わるため必要となります。

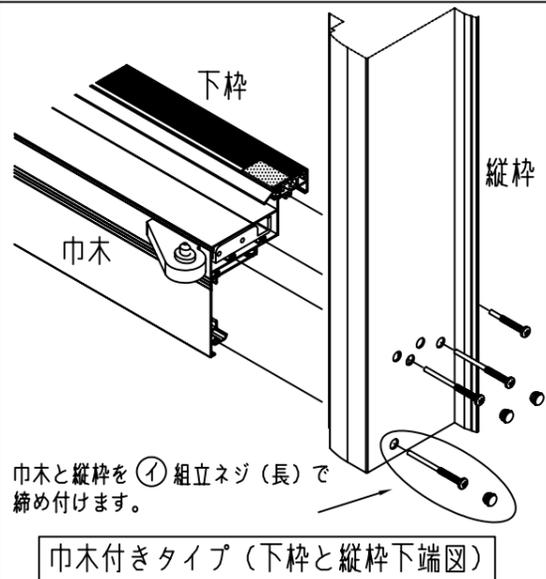
ポイント

- ・縦枠上下端のシーラーの位置ずれがないことを確認してください。

●らんま無しタイプ



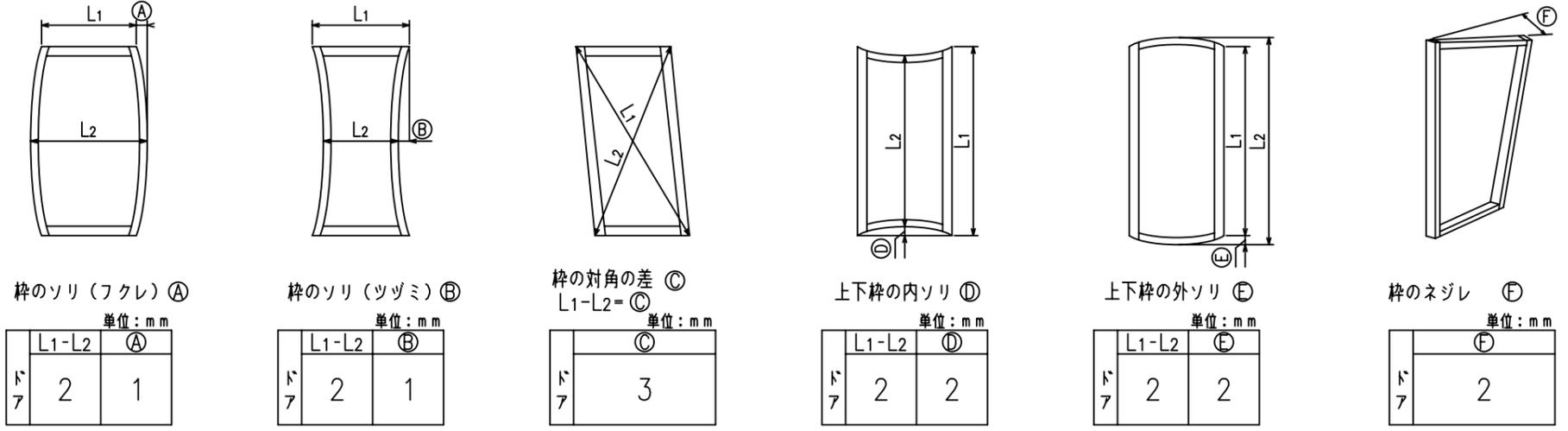
下枠アンカー納まり図



巾木付きタイプ (下枠と縦枠下端図)

お願い

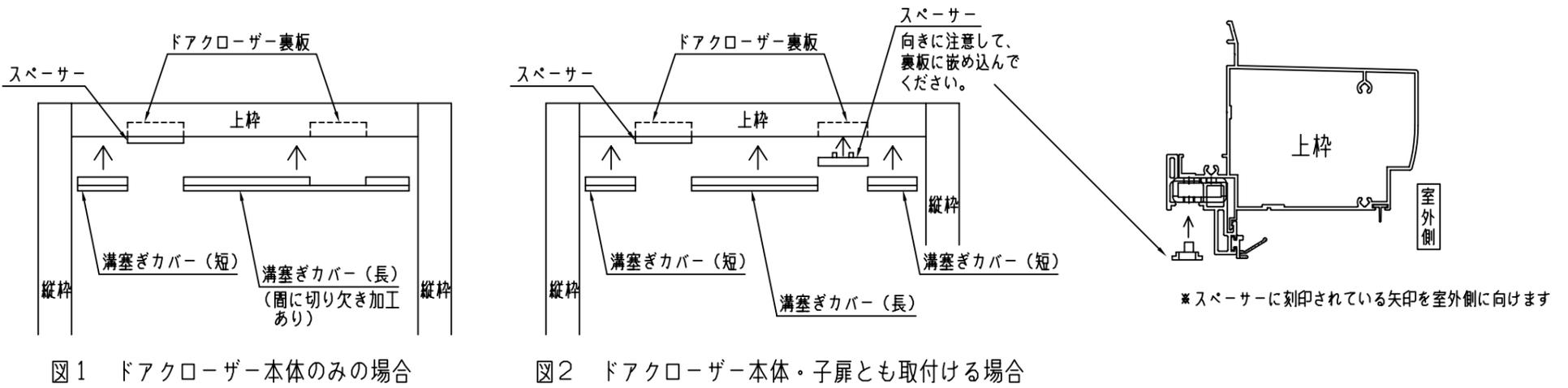
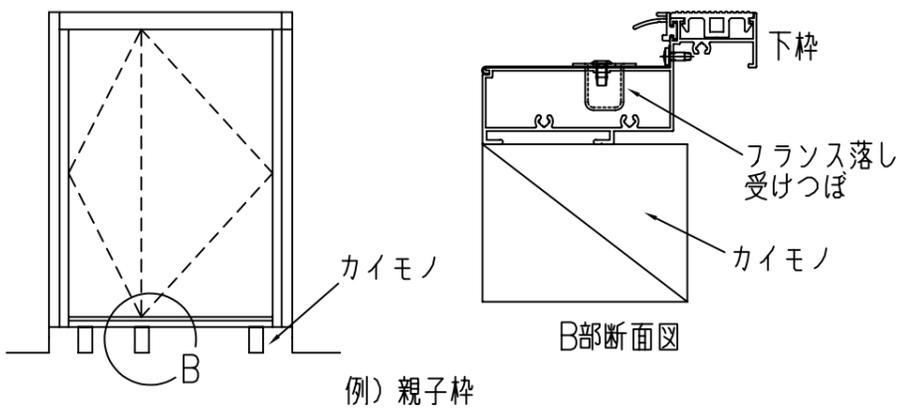
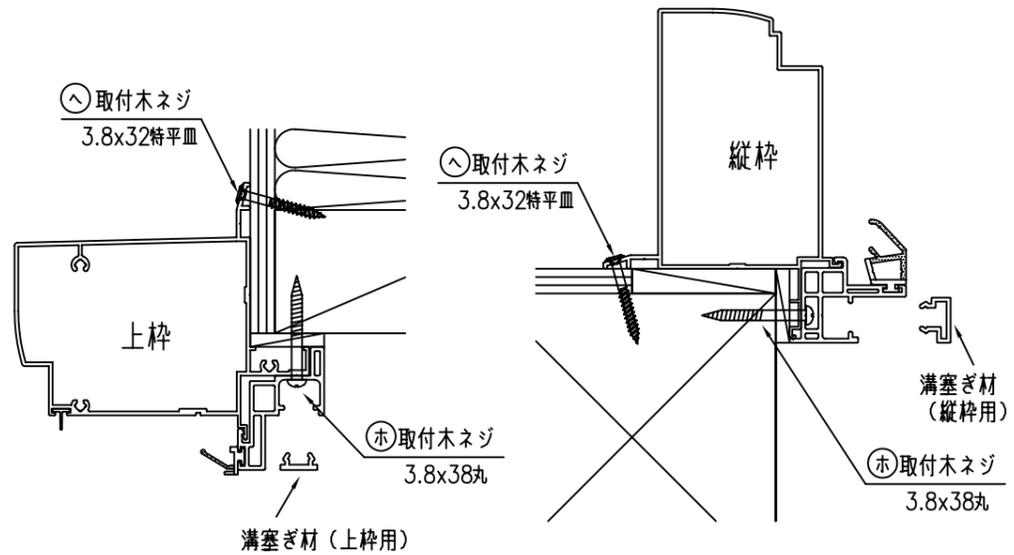
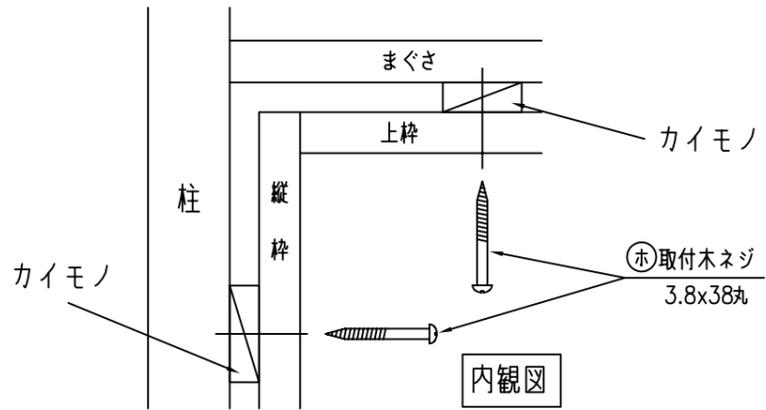
- ・ 枠の施工の際には、精度が下記寸法以下になるように取り付けてください。
施錠・性能・開閉に支障をきたすほか、本体（子扉）の吊り込みに支障をきたすおそれがあります。



3 枠の躯体への取り付け

お願い

- ・ 下げ振り、水準器等で開口部を正しく調整し、水平、垂直対角寸法及び、ネジレのないことを確認してください。
 - ・ 下枠の垂れ下がり防止に、カイモノを敷いて下枠を受けてください。親子、両開きドアの場合は下枠のフランス落とし受けつぼの位置にもカイモノを敷いてください。(下図参照)
 - ※巾木付きタイプは、巾木ごと受けてください。
 - ・ 室内側の取付木ネジ固定の際は、転び防止のため、躯体と枠の隙間にカイモノを挟んでください。(右上図参照)
 - ・ 最後に、室内側に溝塞ぎ材を上枠側→縦枠側の順に取付けます。(右下図参照)
- なお、上枠用と縦枠用は形が違いますので、確認の上取付けて下さい。
※6尺両開きタイプのドアには別売のドアクローザーを使用することにより、子扉にもドアクローザーを取付けることができます。子扉にドアクローザーを取付けない場合(標準)には図1、取付ける場合は図2のように部品を取付けてください(下図参照)。

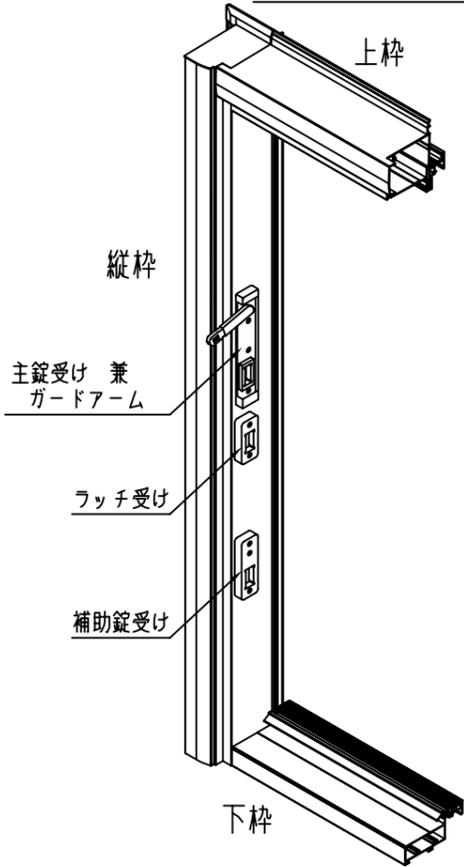


4 ピボットヒンジの取り付けと本体の吊り込み 電動ドライバー使用禁止

- ①ピボットヒンジの梱包内の取付説明書を参照してください。

① ドアクローザーの梱包内の取付説明書を参照して取り付けください。

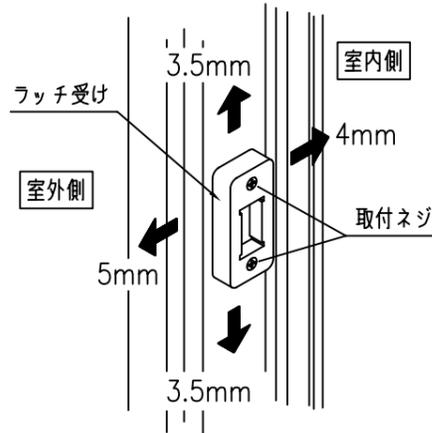
6 錠受けの調整 電動ドライバー使用禁止



※上図は枠の場合ですが、親子、両開きタイプの扉も同様です。

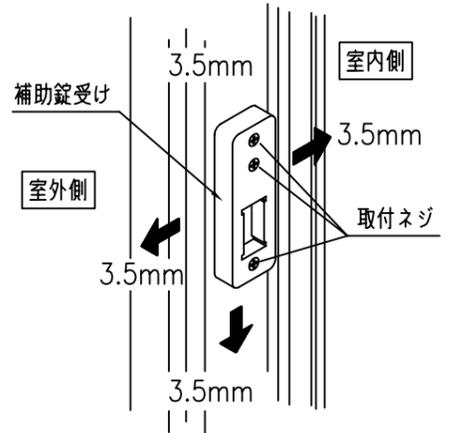
ラッチ受け調整範囲

① ラッチがかからない場合はラッチ受けの取付ネジを緩めて錠受けの位置を調整後、取付ネジをしっかりと締め付けてください。



補助錠受け調整範囲

① 補助錠がかからない場合は補助錠受けの取付ネジを緩めて錠受けの位置を調整後、取付ネジをしっかりと締め付けてください。

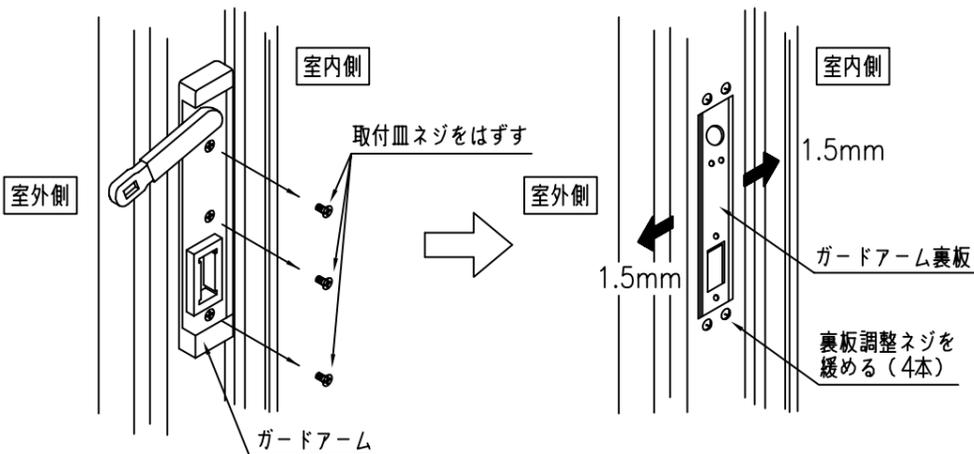


主錠調整範囲 (ガードアームの裏板を動かします)

- ① 主錠がかからない場合はガードアーム取付皿ネジを取りはずし、ガードアームを取りはずしてください。
- ② 裏板調整ネジをゆるめて裏板を室内外にずらして調整してください。
- ③ ガードアームを取り付け直します。

お願い

- ・裏板調整ビスを再度締める時は、しっかりと締め付けて下さい。締め方が弱いと、ガードアームがガタつくおそれがあります。

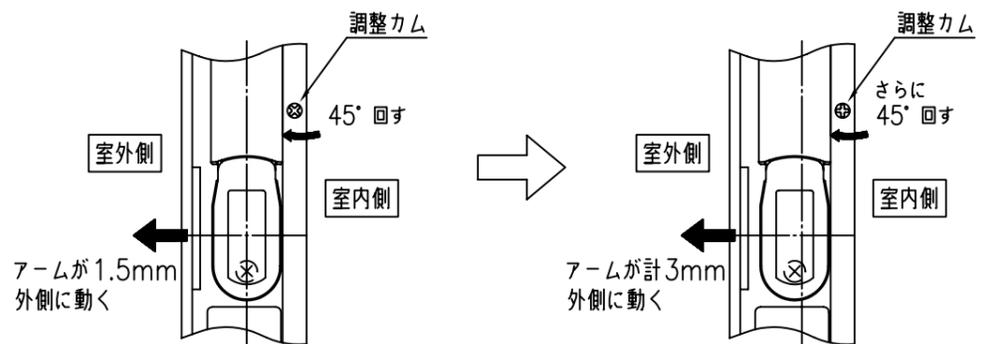


7 ガードアームの調整 電動ドライバー使用禁止

- ① 下図の調整カムを + ドライバーで、時計回りに 45° 回すと 1.5mm さらに 45° 回すと 3 mm 調整できます。
* 本図は R 勝手の場合です。L 勝手の場合は、反時計回りに回してください。

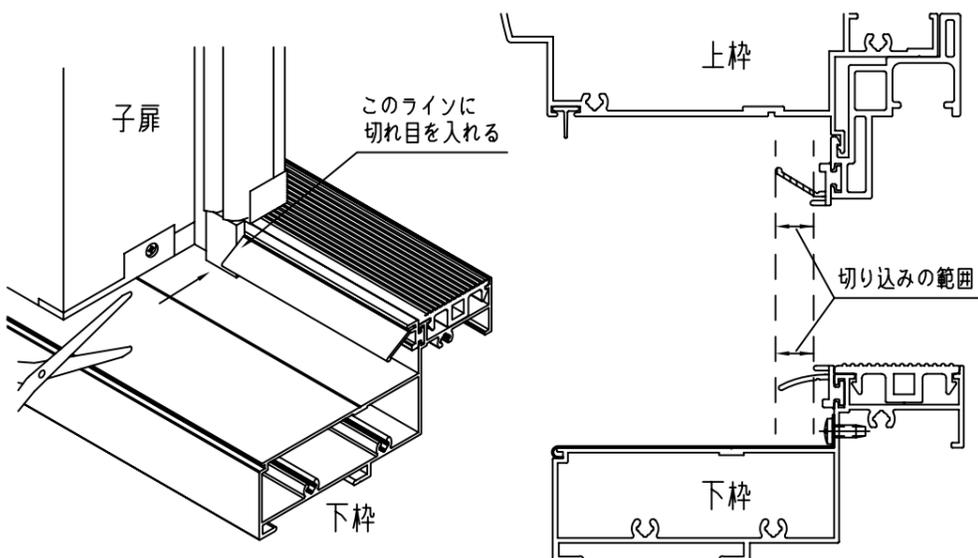
お願い

- ・調整カムを初めの位置から無理やり逆回転に回したり、初めの位置から 90° 以上無理やり回さないでください。調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



8 上下枠タイト材の切り込み (親子、両開きタイプのみ)

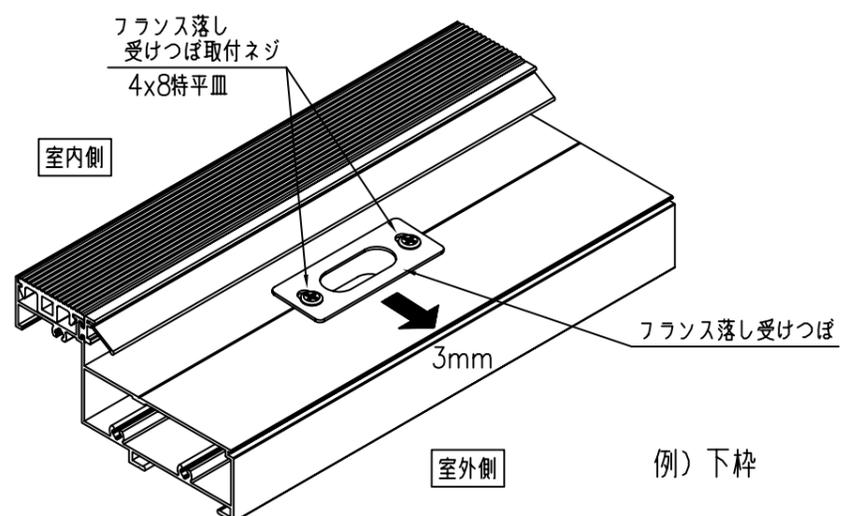
- ① 親子、両開きタイプのドアの場合は、子扉とタイト材の重なるラインでタイト材にハサミ等で切れ目を入れてください。
* 本図は R 勝手の場合です。



9 上下枠フランス落とし受けつぼの調整 電動ドライバー使用禁止

(親子、両開きタイプのみ)

- ① 親子、両開きタイプのドアの場合は、受けつぼ取付ネジを緩めて、フランス落とし受けつぼを、3mmまで室外側に出す調整ができます。



中木無しタイプ H:23
4.5尺親子の場合

